



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2002.11月号

あなたの写真を博物館に・・

第6回 平塚市博物館公募写真展

地域の姿を未来に伝えるため、その自然や文化についての写真を募集します。



写真 第5回優秀賞受賞作品 朝もやの中で（増田智生氏撮影）



第5回優秀賞受賞作品 夕景（寺川仁氏撮影）

■募集要項

●全体テーマ 「相模川流域の自然と文化」

相模川流域各地での人々の生活のようすや自然の姿を写した写真。（例えば、農業や漁業などの仕事のようす・祭り・年中行事・野鳥の生態・四季の草花・台風や地震などの自然災害・地形や地層・土地の改変など、博物館資料として活用できる写真。昔のようすを伝える古い写真も歓迎します。地域は桂川流域や山中湖まで含みます。）

●募集期間 平成14年11月1日～12月27日（必着）

●募集作品

①一般写真（銀塩写真）部門 ②デジカメ部門 ③シラサギ部門

※いずれも、キャビネ（または2L・A5判）相当サイズ。

※カラー・モノクロのいずれも可。組写真も可。

●応募方法

応募票（博物館受付で配布）に所定事項を記入し、作品に添えて博物館に郵送又は持参してください。一人で何点応募されてもかまいません。応募作品の返却はいたしません。

●賞 全体で 優秀賞10点 入選20点（それぞれ賞品を贈呈します。）

●版権 入賞入選作品の版権は平塚市博物館に属します。

■入賞・入選作品の展示

「第6回平塚市博物館公募写真展—相模川流域の自然と文化—」

○平成15年3月2日（日）～4月20日（日）

○協賛 平塚写真連盟・神奈川県カメラ商協同組合湘南支部

※くわしくは、博物館受付・公民館などで配布している「公募写真展要項」または、博物館のホームページをごらんください。

特別展 金目の地域から大志を拓く 見どころ・目のつけどころ
明治の教育・文化村

12月1日まで

平塚には近隣の市町はない、多くの不思議があります。

営林署があること、材木屋が多いこと、教会が多いこと、貨物駅があること、小さな家具屋が多いこと、広い道路が張り巡らされていること、たくさんの普通高校、商業、工業高校、聾学校、盲学校、養護学校が集まっていること、などなど。

金目地区にはそうしたなぞを解くひとつの手がかりがありました。それも明治以後、100年余りのあいだに蒔かれたものなのです。当時の人々の進取の気持ちと実践は今、平塚市民のかけがえのない財産になっているのです。

ここにある1枚のキリスト教会の写真、これは、キリスト教金目伝道所です。

明治19年10月、猪俣道之輔、宮田寅治は横浜海岸教会と一緒に洗礼を受けキリスト教徒となります。同年には、猪俣道之輔が南金目村外7か戸長に就きます。続いて明治22年からは金目村初代村長となります。一方、明治25年からは宮田寅治が猪俣の後を受けて金目村第二代村長に就任しました。この猪俣、宮田の二人の民権家が、交互に村の責任者なる明治20年代が、金目村の村づくりの事業が本格的に開始される時期になります。

その最大の事業が明治19年5月開校の三郡共立学校であり、今ひとつが私立中郡盲人学校でした。

女子教育についても宮田は尽力していることが知られます。宮田は、東京明治女学校長岩本善治の協力を得て、同校卒業者中の適任者の推薦を受けます。そして、女子教育の一環として女子補習学校の設立を見るまで、金目キリスト教会堂において裁縫を主とした女子講習会を開いています。最初の教師は、東京明治女学校の永井広でした。また、明治32・33年頃には、10年間余と短い期間ではありますが、東都遊学生のための施設を東京に設立します。この頃、中郡地方の

子弟が東都に遊学した場合、皆下宿屋住まいになります。そのため、頗る劣悪な学生生活を強いられています。宮田は、この状況に中郡有志の拠金を集め、東京小石川区白山御殿町に家屋を新築して「湘中義塾」を創ります。そこに監督者を置き、寄宿費も安価にして利便を図り、郡内子弟の東都遊学を支援しています。



星空音楽館ライブコンサート

プラネタリウムで、湘南のデュオ、アクアマリンのライブコンサートを行います。

星空の下での澄み切った歌声とトークをお楽しみください。

日 時：11月8日(金)18時から19時

場 所：博物館プラネタリウム

定 員：60名

参 加：参加費無料。先着順で当日16時より入場券を配布します。



「火山からの噴出物」

期間：11月1日～11月29日

相模川の河口部に位置する平塚市は、富士・箱根火山の東側にあたるため、上空を吹く偏西風により、大磯丘陵には厚い火山灰（ローム層）が堆積しています。火山からの噴出物には、粒子の細かい火山灰の他に、1～数cmある軽石やスコリア、溶岩の破片もあり、土屋の遠藤原では、箱根火山から噴出した火碎流が厚さ10m以上積もっています。火碎流は雲仙普賢岳の噴火で有名となりました。

富士や箱根火山の火山本体では、火口から噴出された厚い溶岩や、放出された火山弾や火山岩塊などを間近に見ることが出来ます。マグマの性質（化学成分）の違いによって、噴火の仕方（溶岩をたくさん流すか、爆発ばかりするか等）や、岩石の色調、粘り気等が異なってきます。箱根火山でいえば、大涌谷で知られた神山は溶岩と火碎物を繰り返し噴出してできあがった

成層火山ですが、二子山や駒ヶ岳等は粘り気の強い溶岩が、普賢岳のように盛り上がった溶岩円頂丘と呼ばれる火山です。

今回の寄贈品コーナーでは、今まで博物館で収集してきた、富士火山や箱根火山の噴出物を中心に、火山から噴出された様々な噴出物について、展示します。

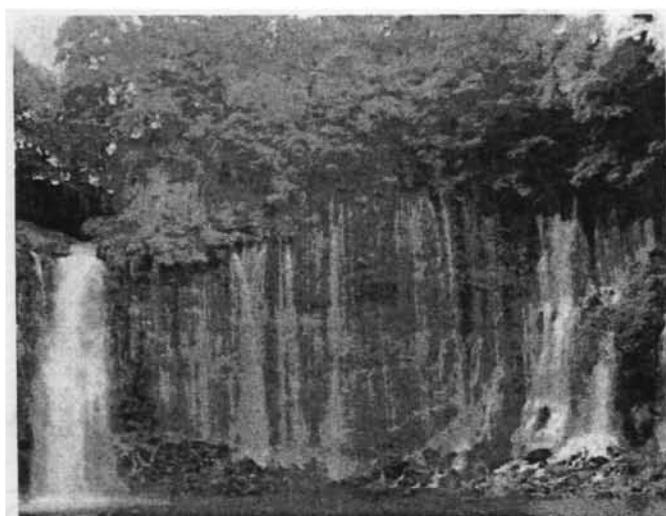
また、丹沢山塊や高麗山等にもかつての海底火山の噴出物が厚く堆積しており、グリーンタフとして知られています。その中には、火山灰の固まった凝灰岩の他に、水中に流出した溶岩であることを示す枕状溶岩、水中で破碎された溶岩角礫岩（ハイアロクラスタイト）、マグマの通り道を示す岩脈もよく観察されます。現在では、箱根火山の東側には火山はありませんが、かつては、相模川付近が火山最前線（火山フロント）であったことを物語っています。



外輪山の丸岳から見た中央火口丘神山と
神山山崩れによる扇状地と芦ノ湖



箱根の外輪山溶岩が冷却する際にできた
板状節理(小田原市米神)



8000年ほど前に流れた白糸の滝溶岩からなる白糸の滝



溶岩が樹木を取りこんで作られた溶岩樹型（河口湖町）

博物館カレンダー

2002年11月の行事

1 金	☆	寄贈品コーナー「火山の噴出物」(～11月28日) 古文書講読会	展示室 講堂
2 土		地質調査会「大山亜層群4」	野外
3 日		特別展記念講演会「相模の民権運動」	講堂
6 水		民俗探訪会調査会「民間信仰調査」	特研室
7 木		展示解説ボランティアの会	特研室
8 金	☆	古文書講読会 星空音楽館ライブコンサート	講堂 プラネ室
9 土	◎	漂着物を拾う会 地質調査会「読書会」	虹ヶ浜 特別研
10 日		特別展関連事業「民権の里を訪ねて」 民俗探訪会「城島の社寺を訪ねて」 水辺の楽校 生きもの調べの会	野外 野外 相模川
14 木		石仏を調べる会	特研室
15 金		古文書講読会	講堂
16 土	◎	考古学入門講座「環境と生業」	講堂
	○	自然観察ゼミナール「鳥のねぐら」	野外
17 日	◎	ろばたばなし 相模川の生き立ちを探る会「二子山と駒ヶ岳」	展示室 箱根
18 月		天体観察会「しし座流星群」(19日まで)	函南
20 水	○	裏打ちの会 民俗探訪会調査会「民間信仰調査」 プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	科学室 特研室 プラネ室
21 木		展示解説ボランティアの会	特研室
22 金		古文書講読会	講堂
24 日		古代遺跡を探す会	栃木県
28 木		石仏を調べる会	特研室
30 土	◎	考古学入門講座「環境と生業」	講堂
	○	自然の新聞を作る会「花水川」	花水川

☆：展示（無料）・プラネタリウム（観覧料） ○：申込制
◎：自由参加 無印：年間会員制

☆秋期特別展

「金目の地域から大志を拓く－金目の自由民権運動－」
明治時代の自由民権運動及び、金目村出身の民権家達が遺した業績を顕彰します。

会期：10月19日（土）～12月1日（日）

☆寄贈品コーナー「火山の噴出物」

会期：11月1日（金）～11月28日（木）まで
富士や箱根などの火山に由来する溶岩や火山弾などを展示します。

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から来歴を推理したり自然環境を考えます

日時：11月9日（土）9時30分～11時

場所：平塚虹ヶ浜海岸

参加：自由（ただし、初めての方は往復はがきで申し込むこと）

◎考古学入門講座「環境と生業」

縄文・弥生・古墳・古代の4回に渡ってお話しします。

期日：11月16日、30日（土）

時間：14時～16時

会場：博物館講堂

参加：自由

2002年12月の行事

1 日		地質調査会「大山亜層群5」	野外
4 水	○	民俗探訪会調査会「民間信仰調査」 プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	特研室 プラネ室
5 木		展示解説ボランティアの会	特研室
6 金		古文書講読会	講堂
7 土	☆	プラネタリウム「2003年の天文現象」(～2月2日)	プラネ室
8 日	○	民俗探訪会「研究発表会」 自然観察ゼミナール「鳥のねぐら」 水辺の楽校生きもの調べの会	講堂 野外 相模川
12 木		石仏を調べる会	特研室
13 金		古文書講読会	講堂
14 土	◎	漂着物を拾う会 天体観察会「ふたご座流星群」(15日まで)	虹ヶ浜 函南
15 日	◎	ろばたばなし 相模川の生き立ちを探る会「愛川層群と構造線」	展示室 清川村
18 水	○	裏打ちの会 民俗探訪会調査会「民間信仰調査」 プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	科学室 特研室 プラネ室
19 木		展示解説ボランティアの会	特研室
20 金		古文書講読会	講堂
21 土	○	平塚の空襲と戦災を記録する会 地質調査会「読書会」 星を見る会「土星を見る」 天体観察会	特研室 科学室 屋上 屋上
22 日	○	古代遺跡を探す会 体験学習「お飾りを作ろう」	土沢 講堂

☆プラネタリウム

「第三惑星軌道の旅」

カレンダーは地球列車の運行時刻表です。なぞのカエルとともに、1年間の地球軌道の旅に出かけましょう。

期間：10月12日（土）～12月1日（日）

投影日：土日曜日の11時と14時

☆星空音楽館ライブコンサート

プラネタリウムで、湘南のデュオ、アクアマリンのライブコンサートを行います。

日時：11月8日（金）18時から19時

場所：博物館プラネタリウム

定員：60名

参加：参加費無料。先着順で当日16時より入場券を配布します。

◎ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。

日時：11月17日（日）(1)13時20分～(2)15時～

場所：展示室民家

参加：自由

○自然の新聞を作る会「花水川」

花水川の動植物を観察し、自然の新聞の記事を作ります。

日時：11月30日（土）13時半～16時半

場所：花水川 定員：30名

申込：往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、11月15日まで博物館へ申し込む。